

令和元年度 町財政の
『健全化判断比率』
『資金不足比率』
『経常収支比率』

実質公債費比率、将来負担比率ともに基準値内であり、
財政の健全性が保たれている 状況です。

(単位：%)

区分	29年度	30年度	元年度
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	-	-
	連結実質赤字比率 (20.0)	-	-
	実質公債費比率 (25.0)	11.6	11.4
	将来負担比率 (350.0)	7.4	3.6
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	-	-
	公共下水道事業特別会計	-	-
経常収支比率	89.6	89.9	89.6

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないため「-」で記載しています。()内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体(黄信号)として、自主的・計画的な改善が義務付けられます。

※1 債務負担行為… 契約などで将来にわたり支払いを予定すること

※2 基金… 特定の目的のために資金を積立、定額の資金を運用するための財産

※3 標準財政規模… 地方自治体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源(使途の特定がない)の規模【桑折町はおおむね35億円】

財政健全化法に基づく指標として、健全化判断比率、資金不足比率がありますが、そのうち、実質公債費比率、将来負担比率は基準値内であり、公営企業(水道・公共下水道事業)会計の資金不足比率も資金不足がないことから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、土地開発公社に係る債務負担行為※1の変更や税収入の増加などにより1.0ポイント減少しました。将来負担比率は、新たな債務負担行為の設定がなく、退職手当負担見込額も減少したものの、新庁舎建設による基金※2取り崩しが進んだことなどから10.8ポイント増加しました。

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金(借金の返済)の標準財政規模※3に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

将来負担比率

一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※3に対する割合。将来負担見込額から基金※2などを控除したものが年間収入の何%に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

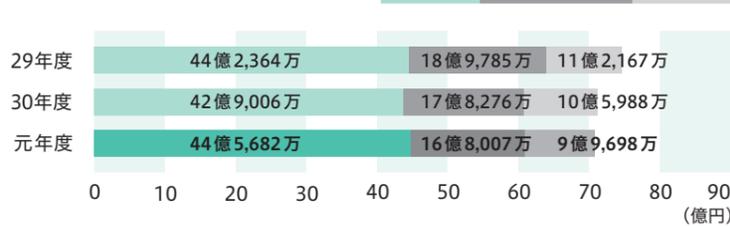
経常収支比率

経常的経費(人件費や扶助費など)の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。元年度県市町村平均は90.0%。

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率、将来負担比率に大きく関わってきます。右のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。

残高の推移



令和元年度末 町債などの残高 (単位：円)

会計区分	H30年度末残高(A)	R元年度借入額(B)	R元年度償還元金(C)	R元年度末残高(A)+(B)-(C)
町債	42億9,007万	5億6,300万	3億9,625万	44億5,682万
企業債	17億8,276万	5,220万	1億5,490万	16億8,007万
水道事業会計	10億5,988万	-	6,290万	9億9,698万

令和元年度
主な使いみち

「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしい町づくりに取り組みました。重点プロジェクトと5つの基本構想別に、主な事業を紹介します。

重点プロジェクト (単位：万円)

質の高いモモ生産に向けた農家支援	16,294
町振興公社の組織強化支援事業	1,180
楽天イーグルス「桑折町デー」協賛事業	474
献上桃の郷こおりシティプロモーション事業	317
観光誘客プロモーション事業	977
国道4号IC周辺の土地利用検討と企業誘致	389
史跡桑折西山城跡整備事業	3,763
万正寺の大カヤ周辺整備事業	665
桑折西山城復元祭事業	740
役場新庁舎建設事業	68,108

I. 魅力的で活力ある 地域社会の創生

農林業振興(有害鳥獣対策事業、ふくしま森林再生事業、「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業など)

商工業振興(空き店舗対策事業、プレミアム付商品券事業、商店街活性化事業など)

観光交流(献上桃の郷BBQフェス事業、半田山山開き事業、在京桑折会事業など)

土地利用(役場現庁舎敷地および周辺公有地活用検討など)

都市緑化と景観(公園・緑地維持管理事業)

移住・定住(若者定住促進事業、移住希望者向けお試し住宅整備事業、新婚世帯家賃支援事業など)

II. 健やかで希望に満ちた 暮らしの確立

結婚・子育て支援(ネウボラ事業、乳児全戸訪問事業・乳幼児訪問指導事業など)

健康と医療(メタボ予防運動教室・仲間づくり教室、がん検診事業、予防接種事業など)

地域福祉(地域福祉計画策定業務委託、ふれあいデイサービス事業委託など)

高齢者福祉(高齢者等福祉タクシー利用券給付事業、高齢者運転免許証自主返納支援事業、敬老会事業など)

III. 安全安心で住みやすい 生活環境の構築

消防・防災(女性消防操法全国大会出場事業、屋外スピーカー放送設備整備事業、水路新設改良事業など)

生活安全(防犯灯LED更新工事、交通安全対策事業など)

環境衛生(除去土壌搬出・仮置場解体除染関連事業、一般廃棄物収集運搬業務委託など)

環境共生(桑折地区かわまちづくり計画事業、住宅用再エネ設備設置補助事業など)

総合交通網(町道新設改良事業、町道など維持管理事業、公共交通検討事業など)

居住環境(空家対策事業、安全安心耐震促進事業、合併処理浄化槽設置整備補助事業など)

水道(水道施設整備事業補助金)

IV. 志高い人材を育む 学びの醸成

乳幼児保育と教育(保育所管理運営事業、幼稚園管理運営事業、幼稚園入園祝品(制服)支給事業など)

小中学校教育(ICT環境整備事業、英語教育の充実、学校給食の保護者負担軽減など)

生涯学習(公民館事業、社会教育施設維持管理業務、図書活動事業など)

生涯スポーツ(自主的スポーツ活動支援、イコーゼ水泳教室開催、夏期巡回ラジオ体操開催事業など)

V. 計画推進に向けた取り組み

住民自治の活性化(住民自治協議会運営交付金交付事業、行政連絡員連合会事業補助金)

行政機能の強化(窓口業務の充実、人事評価制度運用支援業務、政策推進アドバイザー設置事業など)

健全な財政運営(ふるさと納税関連事業、町税などコンビニ収納・口座振替利用促進など)

広報・広聴の充実(広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務、まちづくり懇談会の開催など)

令和2年度

一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は73億7,210万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、**89億9,247万円**となりました。

予算補正の主なもの (全て新規事業、単位：円)

▶ 特別定額給付金給付事業	11億7,350万
▶ 桑折町学びのICT環境整備事業	1億3,474万
▶ 地域活性化商品券発行事業	6,245万
▶ 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	1,451万